

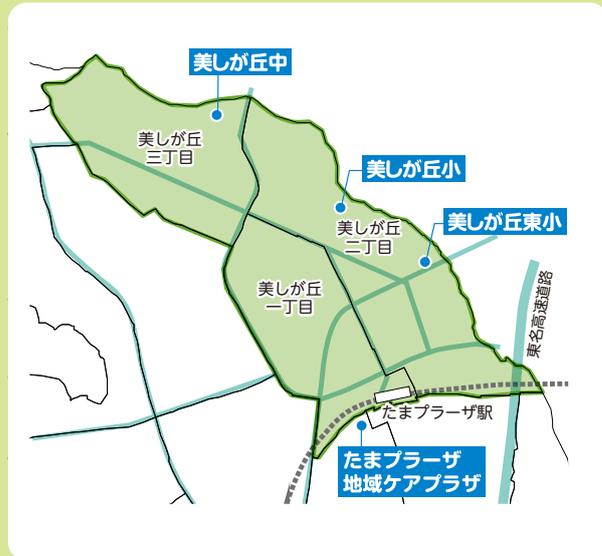
# 美しが丘地区

美しが丘地区は、青葉区の北東部に位置し、1960年代の開発当初から住民がまちづくりに積極的にかかわってきました。遊歩道や街路樹、公園などの地域資源をいかし、緑豊かで誰もが住み心地の良い地域をめざしています。

地区活動では学校や商店街・企業と連携して様々な取組を進めているのも特徴です。また、盆踊り大会やウォーキングなどを地域全体で取り組むことで、住民や団体同士の“つながり”をつくっています。

地区内の  
町丁目

美しが丘一丁目、美しが丘二丁目、美しが丘三丁目



## 第3期計画の振り返り

- 各団体や地域と、「顔の見える関係づくり」ができれば良い。
- 小中学生から高齢者まで、地域活動に関わってもらいたい。
- 地域の団体や地域活動の情報をどのように発信共有していくか。
- 子育て世代とつながりをつくり、多世代交流の場ができ、少しの工夫で家の近くで井戸端会議や交流できる場・仕掛けができると良い。
- 安否確認タスキを配布し、発災時の見守りの意識が高まっている。



## 推進会議の主なメンバー

連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、老人クラブ、学校・地域コーディネーター

担当地域ケアプラザ：たまプラザ地域ケアプラザ

## 地域で行われている活動



健康ウォーキング



黄色い安否確認タスキ



落ち葉清掃

5年後にめざしたいまちの姿

## 地域を大切に思う新しい仲間を増やし、 地域の一人ひとりがいつまでも健康で 自分らしく暮らせるまちをつくる

\* : KeyWord、活動イメージ

目標1

### 日常生活の場や機会をとらえ、 身近な人とつながりをもつ



取組

- 日頃から声をかけあう関係をつくっていく
- つながりを持てるような場所・機会をつくる
- 学校と地域とのつながりづくり

\* : 防犯パトロール、黄色いタスキ、防災訓練、落ち葉清掃、ベンチ、校外委員との連携等

目標2

### 活動を通じて様々な人とのつながりを広げる



取組

- 活動を行う際には、地域の人がつながりを持てるような工夫をする
- 様々な活動の情報を、広く周知していく
- こどもから高齢者まで異世代交流の取組を引き続き活発に行っていく
- 交流の要素を取り込んだ健康づくりの取組を行う

\* : 健康ウォーキング、地域で行われている活動を知る、昔遊び、元気体操、みまもりあいプロジェクト等

目標3

### 緩やかに活動が続くよう活動の門戸を開く



取組

- 活動団体が情報共有し、地域のことについて話し合い、ネットワークを広げる
- 新たな担い手を発掘する

\* : 地区社協助成団体交流会、横のつながり、食を通じて地域活動への誘導等

目標4

### 新しい生活様式や将来像を見つめ、 暮らしやすい仕組みをつくる



取組

- 外出が難しい人への支援を考える
- 新しい生活様式のなかでも安全に活動する仕組みを作る

\* : オンラインの活用、外での活動、外に出てもらうための工夫、移動販売を活用しての見守り等